

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽 I	2	1	ON1!	RECORDER BOOK

到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	(a)歌唱表現 曲種に応じた発声の工夫、視唱力の伸長、合唱における表現の工夫 (b)器楽表現 リコーダーやクラシックギターの体験と奏法の工夫、視奏力の伸長、合奏における表現の工夫 ◆生徒の主体的な授業への参加を重視する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	発声の基礎	呼吸法、共鳴など発声の基礎を習得する	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	器楽①	アルトリコーダーの基本的な奏法を習得し視奏力を養う	
6月	合唱①	混声4部合唱の響きを感じ取る 視唱力を養う	
7月			
8月	器楽②	リコーダーのいろいろな奏法を習得し、アンサンブルを体験することにより表現の工夫をする	
9月	合唱②	混声4部合唱を作り上げる中で表現の工夫をする	
10月		アンサンブルも取り入れて聞きながら演奏する練習をする	
11月	器楽③	クラシックギターの基本的な奏法の習得と鑑賞	
12月			
1月	器楽④	ギター和音奏法やアルアイレ奏法を学習し表現の幅を広げる アンサンブル発表を通して表現の多様さを感じ取る	
2月	合唱③	パートの役割を意識し、主体的に合唱を作り上げる	
3月			

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術 I	2	1	高校美術 1（日本文教出版）	なし

到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<p>A：表現について：①「絵画と彫刻」●感じ取ったこと、自己の考え、夢や想像などを基にする課題テーマの表現●表現形式を含める創造的な表現の構想●デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫②「デザイン」●機能と美しさや楽しさを考えた課題テーマの表現●造形要素の理解と創造的な表現の構想●アイディアスケッチ、色彩、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫。</p> <p>B：鑑賞について：●美術作品のよさや美しさ●作者の心情や意図と表現の工夫●生活や自然と美術の関連●日本の美術の歴史と表現の特質</p> <p>* 1 学年の授業テーマとして、「制作力（集中力・気力・体力）を培う」を設ける。 * 地域貢献の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品を通じた交流を図り、 高大連携の観点から大学の先生に授業を行って戴く。 * 豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。 * 授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月	○デッサン・絵画・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	<p>着色デッサン―「自分の手」を描く 絵画―「人と自然」「人と乗り物」「人と飲み物」のテーマから一つ選んで絵画表現する。 デザイナーポスター―「日々の暮らしの中で、あなたが経験した楽しい出来事」をテーマとする。 デザイナーイラスト―「風が吹いている」をテーマとするイラスト</p>	<p>課題制作と作品 出席状況 授業への取り組み 提出物</p>
7月	○鑑賞課題の実施。 ○コンクール展への参加	講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。	
8月 9月 10月 11月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。 ○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	<p>美術館や博物館、その展示会について知らせる。 絵画A―鏡を手に持った自画像を描く 絵画B―「坂道の自画像」をテーマに絵画表現する。 立体―「力」をテーマに、立体表現する。 デザインA―「日本文化の紹介」をテーマとするポスター作り デザインB―構成要素の言葉から物語を作り絵コンテを作る 講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。</p>	
12月	○鑑賞課題の実施。 ○校外展示	<p>講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。 市役所の展示ホールや中央公民館で美術授業作品展や国際交流展として展示する。</p>	
1月 2月 3月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	<p>絵画A―「森の中で瞑想する私」をテーマとし、絵画表現する。 絵画B―「今朝の出来事」「私の町」のいずれかのテーマを自分自身と関連づけて絵画表現する。 立体A―「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体B―「21世紀のシンボル」をテーマとする立体表現。 デザインA―「MOON LIGHT」をテーマとするデザイン表現 デザインB―「歩く」をテーマとする4枚1組のイラストと文章による伝達。</p>	

平成27年度 指導と評価の年間計画 (大阪府立桜塚高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道 I	2	1	書道 I (東京書籍)	

到達目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・大筆、中筆の使い方のみならず、小筆による実用的な表現の学習も積み重ねます。 ・硬筆練習の課題や、様々な展覧会の鑑賞の勧め、鑑賞指導なども含め幅広い書教育をめざします。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	書道授業概説	「書写」と「書道」との関連と違いについて。 墨、筆のできるまで。(ビデオなど)	提出作品 鑑賞ノートレポート 出席状況 授業への取り組み
5月	楷書による学習	書体の変遷について理解する。 楷書体の書風の違いを考え、表現してみる。 用筆を習得する。半切画仙紙での臨書。 造像記を踏まえ、楽しい書の表現を体験する。	
6月	漢字かな交じりの書の学習	「うちわ」制作なども含む 篆書の学習と氏名印の制作。	
7月	漢字仮名交じりの書 篆刻の学習		
8月	行書の学習	行書の成り立ちを理解する。 行書の用筆運筆法を習得する。 蘭亭序(王羲之について理解する。) 画仙紙での臨書。	
9月			
10月			
11月			
12月			
1月	かなの学習	仮名の成り立ちを理解し、基本的な用筆・運筆法の習得。 古典の臨書を通して、変体仮名に親しむ。	
2月			
3月			

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽Ⅱ	2	2	MOUSA 2	自主教材プリント

到達目標	音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	(a) 歌唱表現 声域の拡張と豊かな発声、視唱力の充実、合唱における豊かな表現 (b) 器楽表現 クラシックギターの奏法の習熟、視奏力の充実、個性豊かな表現 (c) 創作 歌詞の内容を生かした声楽曲の創作、楽器の特性を生かした器楽曲の創作 いろいろな音素材を生かした創作 ◆生徒の主体的な授業への参加を重視する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	器楽①	クラシックギターの奏法を深め、アンサンブル活動を通して表現の工夫をする	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月		視奏力の充実を図る	
6月	合唱①	混声四部合唱を体験し表現の幅を広げる	
7月		視唱力の充実を図る	
8月	器楽②	ギターの弾き語りを演奏することにより表現の工夫をする	
9月	合唱②	大人数の合唱をホールで演奏する体験を通して合唱の醍醐味を味わう	
10月	創作①	いろいろな音素材を使って自由な表現を試みる	
11月			
12月			
1月	合唱③	アンサンブルを体験し、アレンジも含め表現の工夫をする	
2月	演奏会を創る	音楽Ⅰ・音楽Ⅱで学んだことを土台にしながら、グループアンサンブルに取り組み、豊かな表現の工夫をする	
3月			

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅱ	2	2	高校美術2（日本文教出版）	美術 表現と技法（日本文教出版）

到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<p>A：表現について：①「絵画と彫刻」●自然、自己、社会などを見つめた課題テーマの表現●心豊かな表現の構想と様々な表現形式や材料と技法の活用●創造的な表現の追及②「デザイン」●生活を心豊かに創造する主題の生成●美的、効果的な表現の構想と材料、技法の活用●創造的な表現の追求と創意工夫。</p> <p>B：鑑賞について：●作品や作者の個性などについての多様な見方●心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働き●時代、民族、風土などによる表現の相違や共通性と美術文化</p> <p>*2学年の授業テーマとして、「表現力（強さ・明るさ・勢い）を培う」を設ける。</p> <p>*地域貢献の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品を通じた交流を図り、 高大連携の観点から大学の先生に授業を行って戴く。</p> <p>*豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。</p> <p>*授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	○着彩デッサン・絵画・立体・デザインの各課題から	着彩デッサン「鉛筆を持っている手」 絵画「私の好きな場所」をテーマとする。油彩画とアクリル画	課題制作と作品 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	選択して、アイデアスケッチを基に作品を制作する。	デザイン「ポスター」「私」をテーマとする。 デザイン「イラスト」「春夏秋冬」の中から季節を一つ選ぶ。	
6月		立体「動物」をテーマとする。ケント紙で創る。	
7月	○鑑賞課題を実施する。 ○コンクール展への参加	作品発表鑑賞会を行い作品を鑑賞する視点と評価の観点を知る。	
8月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
9月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイデアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A「幼いころの思い出」をテーマとし、絵画表現する。 絵画B「人の表情」をテーマとし、絵画表現する。	
10月		立体A「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体B「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。	
11月		デザインA「私の好きな言葉」をテーマとするデザイン表現 デザインB「環境問題」をテーマとするポスター作り。	
12月	○鑑賞課題を実施する。 ○校外展示	作品発表鑑賞会を行い作品を鑑賞する視点と評価の観点を知る。 市役所の展示ホールや中央公民館で美術授業作品展や国際交流展として作品展示する。	
1月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイデアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A「鏡を手に持った自画像を描く」 絵画B「人と街」「人と機械」「人と公園」からテーマを一つ選びそれぞれを構成して絵画表現する。	
2月		立体A「上昇」をテーマとする立体表現。 立体B「仮面」をテーマとする立体表現。	
3月		デザインA「窓」と「旅人・夢・秋・写真」の中から二つ選んで、3つのことばから発想するイメージとその題名を構成する。 デザインB「自分の好きな事や好きな物をアピールするデザイン」。	

平成27年度 指導と評価の年間計画 (大阪府立桜塚高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道Ⅱ	2	2	書Ⅱ (光村図書)	

到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を高め書の文化と伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を表現する作品制作を多く取り入れます。毛筆の作品制作のみならず、拓本や木版での作品作り、また長条幅という長い画仙紙を宙吊りにして書くというユニークな方法にも挑戦してもらいます。 ・一年からの小筆練習を続けます。 ・折々の硬筆練習

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	篆書の学習	文字の成り立ち、篆書体の用筆法について学ぶ。	提出作品 鑑賞ノートレポート 出席状況 授業への取り組み
5月	瓦当文の制作と拓本	篆書体で各自の好きな四字句を漢時代の瓦当文の構成で制作。 上記作品を石膏ボードに刻し、拓本を採取、拓本の取り方を学ぶ。	
6月	硬筆 消しゴムハンコと 漢字仮名交じりの書	手紙・葉書・のし袋の書き方など、実用的な規範を学ぶ。 暑さ対策の為、クーラーのある図書館などで制作出来るものとして。	
7月			
8月	鏡へのサンドブラスト パネル制作	自由な発想で作品制作 自分の作品をパネルに仕上げる。(裏打ちの方法など)	
9月	仮名制作	1年の学習を踏まえ、更に発展させる。	
10月	草書の学習	草書体について学習する。	
11月			
12月			
1月		王鐸の長条幅作品を画仙紙に臨書する。 王鐸が実際に行ったという宙吊りによる臨書での追体験。 「書」の本格的な世界の一端を味わう。	
2月			
3月			

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅲ	2	3	高校美術3（日本文教出版）	美術 表現と技法（日本文教出版）

到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<p>A：表現について：①「絵画と彫刻」●独創的な課題テーマの表現と表現形式の選択●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫②「デザイン」●デザイン効果を考えた独創的な課題テーマの表現と表現方法の選択●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫。</p> <p>B：鑑賞について：●作者の生き方や主張と作品●美術が国際間の理解や協調に果たす役割●文化遺産としての美術の特色と文化遺産等の保存の意義。</p> <p>*3学年の授業テーマとして、「芸術力（奥行き・幅・厚み）を培う」を設ける。</p> <p>*地域貢献の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品交流を図る。</p> <p>*豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。</p> <p>*授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	○絵画・デザインの各課題から選択して、アイデア	以下の3課題のうち一つを選んで制作する。課題作品制作。	課題制作と作品 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	スケッチを基に作品を制作する。	・絵画—自分について絵画表現しなさい。：油彩画かアクリル画	
6月		・デザイン—ポスター「友」をテーマとするポスター表現。：アクリル絵の具と他の表現材料	
7月		・デザイン—イラスト—あなたが好きな「音」か「音楽」から発想するイメージをイラスト表現しなさい。：アクリル絵の具と他の表現材料。	
	○コンクール展への参加。	*絵画は80号か100号 デザインはB全パネル *高校展に作品展示する。 *制作をやり切り達成感を味わう。	
8月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	高校展を鑑賞し、自分の創った作品が鑑賞する同じ場所に展示され同じように鑑賞される事を知り、作品を鑑賞し評価する視点を学ぶ。	
9月	○共同作品制作	地域貢献や国際交流の観点から共同で作品制作する。 グループで話し合い構想を練って役割を分担し制作して行く。	
10月	○自由制作。	10時間課題として、自ら構想を練って企画書を作りそれに基づき材料をそろえ作品制作して行く。	
11月			
12月	○共同制作作品の校外展示	市役所の展示ホールや中央公民館で美術授業作品展や国際交流展として作品展示する。	
1月	○自由制作	最終授業から逆算して上記の自由制作を10時間行う。	
2月			
3月			